

## 広報広聴常任委員会記録

日 時 令和2年8月26日（水曜日）13時30分～15時32分

場 所 議員控室

出席者 阿部委員長、金木副委員長、小寺委員、舟見委員、工藤委員、森議長  
オブザーバー 逢坂議員、船本議員

事務局 豊島局長、嶋元係長

阿部委員長（開会） 13:30

それでは、時間となりましたので、ただいまから広報広聴常任委員会を開催いたします。

本日の議題は、1つ目が議会による町民アンケートの実施について、2つ目がインターネット（動画）配信の調査・研究についてを議題といたします。それでは、レジュメに沿って進めていきたいと思っております。

### 1 議会による町民アンケートの実施について

#### （1）アンケート内容の絞り込み

阿部委員長（説明） 13:30～

まず、1つ目の議会による町民アンケートの実施についてですが、町民アンケートの実施に向けて、10月22日発行の議会だよりにアンケート用紙を折り込むことと前回の委員会のほうでなりました。今回は、今後のスケジュールや回収方法等について協議していきたいと思っております。

まず、（1）のアンケート内容の絞り込みについてですが、9月中旬、定例会ぐらいまでには各常任委員会のほうでアンケートの内容のほうを協議していただきたいなと思っております。協議していただきながら、総務産業、文教厚生、広報広聴常任委員会の中で調整しながら進めていきたいと思っておりますので、それについてはこれでよろしいですか。（はい。の声）

#### （2）アンケート用紙の作成

阿部委員長（説明）

次、(2)のアンケート用紙の作成ということで、まず1つ目が回答方法の調査・研究ということで、どういった形がいいのか、チェック方式であったり記述式等、行政であったり他の自治体の議会が行っているアンケート用紙を参考に今後アンケート用紙のほうを作っていきたいと思います。資料1をまず見ていただきたいと思います。こちらのほうに、こういった形になるのかなということで、簡単な形でアンケート用紙の案を作らせていただきました。これについてもまだこのままの形でいくとは決めていませんので、もう少し直すところは直さなければならないでしょうし、優先順位はどうなのだという問いかけをするのであれば、そういった部分も含めて、こちらのアンケート用紙についても各常任委員会のほうでアンケート内容、どういった内容を調査したいかというのがある程度固まってきたら、アンケート用紙のほうも各常任委員会の委員長さんと調整していければと思います。アンケート用紙について、こういったことはどうなのだろうかといったご意見があればお聞きしたいと思いますので、ご意見ある方は挙手にてよろしく願いいたします。

町民向けのアンケートは議会でやるのは初めてなのですけれども、前任期中に議会・行政改革調査特別委員会の中で、議会基本条例に関するアンケートということで、小寺議員が主体となつたしか、第3分科会でしたか、やったかと思います。そういったところも参考にしながら、そのときは二重丸は最優先、丸は優先、三角が要検討であったり、バツが取り組む必要がないといった形で羽幌町議会の中で取った記憶がありますので、そういったものも参考にしながら、広報広聴でいけば資料1に載せている部分だけでいいのかもしれないですけれども、総務産業であったり文教厚生でいけばそういった優先順位等も調べる必要もあると思いますので、過去取り組んだ部分も参考にしながらアンケート用紙を作っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。何か意見があればよろしく願います。

—主な協議内容等（質疑）— 13:34～13:50

小寺委員 資料1の、これから変えていくと思うのですけれども、理由をお聞かせくださいという①、②ですけれども、全く読まないにチェックした理由だけではなくて、チェックした理由があればということで、毎号読む人にも理由があると思うので、1つに限定して理由ではなくて、理由があればお聞かせくださいみたいな感じのほうが、より具体的に意見を書いていた方がいいかなというふうに思います。それとあと、各委員会の集計をどこの場面でやるか。文教のほうでは先日話して、ちよっ

と付け加えたのもあるのですけれども、5つぐらい出したのです。総務産業も幾つか出ると思うのですけれども、それを全部入れるのか、それとも、紙面も限られているので、これを減らすとか、これは絶対入れたとか、そういうのもこの場でやる権利というか、修正するあれがあるのか。

阿部委員長 修正まではちょっと広報広聴では難しいかなとなった場合は、議員協議会……

森 議長 決まっていると思っていたのですけれども、それぞれの委員会で自分たちの担当のところ項目を出して、最終的に全体調整は全員協議会でやるということでスタートしていると思っていたので。そういう認識は伝わっていなかったですか。

阿部委員長 出来上がったアンケートについては全議員に見てもらうような形にしていたから。

小寺委員 自分が言っているのは、その前の草案から全員協議会で話すのか、それともある程度文面も直しつつ統一感を持たせた中で、これでいきますというのを考えていたのですけれども、その辺……

阿部委員長 暫時休憩します。

(休憩 13:37～13:48)

阿部委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

森 議長 さっき言ったことなのだけれども、アンケートの答えのやり方として、委員長が言ったとおり、物によっては、広報に関してはこれでいいなと思うけれども、イメージなのだけれども、総務産業なんかだと産業関係がざあっといろんなものが出てきたときに、いいか、悪いかだけつけていくと、強弱が分からないという表現がいいのか、住民にとって優先順位というのがあると思うのです。やる必要がないかやる必要があるかだ

けで決めると内容的に深まりが足りないなと思いますので、前回の二重丸、丸、三角、バツがいいのかどうかというのは詰めてもらえばいいと思うのですけれども、そういう余地を残した設問の仕方が大事なことだと思いますので、1人の意見としてぜひその方向で検討してもらいたいと思います。

阿部委員長　ほかアンケート用紙について何かございませんか。流れとしては、9月定例会までに各常任委員長さんのほうでそれぞれの委員会の調査内容を決めていただきまして、その後私も含めて逢坂委員長、小寺委員長と協議、調整しながらアンケートの中身を作っていくと思います。その後、作ったアンケート用紙を全議員のほうにチェックしていただきながら、そこで足す部分、引く部分というものを作りまして、10月の頭までには最終的なアンケート用紙のほうを作成していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。アンケート用紙についてはいいですか、これで。(はい。の声)

### (3) アンケートの回収方法

阿部委員長(説明)　13:50～

次のアンケートの回収方法のほうに移りたいと思います。前回の委員会のほうでも出ましたQRコード、メールアドレス、ファクス、あと回収箱の設置になります。資料1の一番最後、アンケートにご協力いただきありがとうございましたの下のほうに載せております。回収箱への投函か、議会事務局へファクスまたはメールでの送信をお願いいたします。QRコードからも回答できますということで、右のほうにあります黒い四角の中にQRコードが入るような形になるのかなと思っております。QRコードなのですが、以前町民との意見交換会のときに、事前アンケートのときにQRコードを使ってアンケートを調査しています。そのときに小寺委員のほうにお願いしたのですけれども、アンケート用紙が出来上がって、それからQRコードにするまでの日数とか、またお願いすることになると思うのですけれども、その辺どうですかね、スケジュール的に。

ー主な協議内容等(質疑)ー　13:51～14:15

小寺委員 すぐできます。

阿部委員長 すぐできますか。問題ないですか。

小寺委員 問題ないです。

阿部委員長 はい、分かりました。あと、回収箱の設置場所もある程度今日決めていきたいなと思います。それによっては回収箱も作らなければならないので、その個数とか把握しなければならない部分もありますので、ここには設置場所として役場、公民館というふうに書いていますけれども、ほかどうですかね。前回の委員会では、大手スーパーなどといった民間の施設、商業施設等も入っていましたけれども、こういったところに置いたほうが集まるのではないかといったご意見があればお聞きしたいと思いますので。

小寺委員 まず、島は両島支所に置いたほうがいいかなというふうに思います。

金木副委員長 まだはっきり決めていなかったかもしれないですけども、10代というのがあるのですけれども、小中学生なども対象にするのかどうか、その辺決めていなかったかなと思うのですよね。

阿部委員長 この場では決めていなかったの。

金木副委員長 児童・生徒を除くかどうか。

森 議長 ちょっと気になったことがあるので、配布というか、QRコードとかというのは無条件にやれるので、子供たちも出そうと思えば出せるという前提のものですよね。チェックのしよは、子供たちは駄目ですとか入れない限り全町民やれるもので、それは決して悪いことではないような気がするのですけれども、それに関連して、これをアピールしたいということで1人で10枚も20枚もというようなものをどんどん送りつけてくるということ防止できないのです、今のこのやり方は。今言われて思いついたぐらいのことなので、以前から考えてはいなかったのですけ

れども、そうすると公平的なあれではないのではないかというふうに後で見られると。かといって今までの構築が全部崩れてしまうので、意味合いは違うかもしれないけれども、そこも考えなければ駄目なのかなと。

小寺委員 追加して同じような内容なのですけども、逆に言うと広報に挟むから各家庭1枚しかないのです。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、一家庭4人でみんなが書きたいと思っても1枚しかないから、書けるのは個人だから男性、女性というチェックは入らないわけで、世帯ごとなので、アンケートを配るプラス、ホームページに用紙をダウンロードできるサイトを作るとか、足りない方はコピーしてお使いくださいと。

森 議長 コピーするものだと思っていたのだけれども。

小寺委員 自分は子供は別にしたほうがいいと思うのです。子供は駄目というのではなくて、子供は子供用の、するのであれば小学校、中学校、高校に対してすれば、自分はこれ1回で終わるとは思っていないので、今後子供たちの意見を聞く機会というのはまた別につくってもいいのではないかなというふうに思っているので、これはあくまでも、成人と言ったらおかしいですけども、10代の社会人になるのかな、が対象になるのかなとずっと思っていたのです。

阿部委員長 チェック項目で、職業でいけば学生もあるので、中学生……

森 議長 その2つが微妙にずれた話に、私がまた次のものを出してしまったので、子供を入れるのか入れないのか、1人で何十枚もコピーなりQRコードも含めていろんなことを考えればできるのかということとは分けたほうがいいかもしれないですけども、子供というか、学生を外すというと、高校でも傍聴に来たり、最近はないですけども、小学生も1回来て模擬議会をやったこともあるので、項目を具体的にきちっと、職業という言い方がいいのかどうか分からないけれども、分けたほうが、学生は駄目ですよということを書かなければ駄目ですよ、基本的には。それもどうかなという意見ですね。特に中高生になると、羽幌の将来とかそうい

うことも含めて、むしろそういう世代の声を反映させていくためにも入れたほうがいいのかなどというふうに思います。

小寺委員 小学生も対象とするのだったら、それ向きというか、ちゃんと振り仮名も振ってあげるとかそこまで考えないと。小学校も入れるとしたらですよ。中学生以上なのかよく分からないけれども、答える側のあれにしてあげないといけないのではないかなと思うのですけれども。

阿部委員長 小学生まで含んでとなってくると小寺さんの言うとおりの振り仮名ともなりますけれども、そもそもこのアンケートのきっかけというのは、まず1回目ということで全町民対象なので、今後やっていく中で小中学生、高校生含めて必要だとなれば、そういったところに直接出すというのも手かもしれないですけれども、まず今回は第1回目ということで全町民対象、書くのは各世帯、もしかしたら1名かもしれないですけれども、QRコードもあるので学生がやるかもしれないですけれども、まずはそこを分けるのではなくて1つの形でやっていければいいのかなど。アンケートの結果を基に2回目、3回目というふうに考えていければ、いろいろと設問の作り方も変わってくるでしょうし、調査する内容も変わってくるのかなと思いますので、今回は1回目ということで全町民を対象にしていますので、こういった形で進めていければなと思っています。ほかどうですか。(何事か呼ぶ者あり)私の言ったとおりで進めていってもよろしいですか。(はい。の声)回収箱の設置場所が両島の支所までで止まっていますので、議会通信とか貼ってもらっているのがサンプルであったりハートタウンであったり、そういったところには話はしやすいのかなと思います。できるだけ人が集まるような場所に置くのが理想だと思いますので、ある程度今日場所を決めてくれれば、回収箱を準備するのにいいかなと思うのですけれども。

工藤委員 ハートタウンということになると、1階のどこかということ。

阿部委員長 そうですね。1階部分の出入口とかに置いてもらうような形でお願いするしかないのかなとは。

工藤委員 それは商工会にお願いするのですか。

阿部委員長 今まで議会通信を貼ってもらうのには、商工観光課のほうに言って貼ってもらっていました。町の施設だから商工観光課に。

森 議 長 それは町の施設だから。

阿部委員長 そうです。

工藤委員 はい、分かりました。

阿部委員長 両島の支所、サンプラ、ハートタウン、老人憩の家も貼っていましたよね。議会通信でいけばですよ。

工藤委員 健康支援センター。

阿部委員長 健康支援センター。

森 議 長 相手次第ですけれども、ハートタウンというのは実質お客さんが生協なので、相手がいいと言うのであればホクレンショップ。集めるためには、今回、違うことかもしれないけれども、5,000 円の券も役場に来るのは嫌だということで、議会の意見を汲んでくれたのかもしれないけれど、今度、現金書留になるということなので、ある程度幅広くしないと、わざわざ役場まで来てということよりも何かのついでに置けるというようなことからすると、二大スーパーというのは外せないのかなという気がしますよね。

阿部委員長 今まで出てきたのが、役場、公民館、両島の支所、サンセットプラザ、ハートタウン、健康支援センター、ホクレンショップ、老人憩の家。（「8 か所」と呼ぶ者あり）9 か所。（何事か呼ぶ者あり）そうですね。議会通信を貼っている場所になっているので。

森 議 長 限られた人間しか出入りしないようなところはいいのでないですか。



阿部委員長 老人憩の家とかはどうしても限られていますし。

小寺委員 老人憩の家はなくても……

阿部委員長 健康支援センターだったら……

森 議 長 若い人でも友達同士だとか体操だとか、若い人もお年寄りも両方とも出入りするからそれはいいと思う。作るのも大変でしょうね。

阿部委員長 作るほうも大変になるかと思うのですけれども。事務局にも協力をお願いしたい……

小寺委員 老人憩の家よりは、川北はサンセットプラザしかないので、福祉センターとかあればいいのかなと。

森 議 長 老人憩の家よりまだ少ないのでは。でも、買物には、両スーパーには川北の人も絶対行きますよね。（「恐らくね」と呼ぶ者あり）

阿部委員長 本当は今日決めれば決めたかったですけれども。

森 議 長 決めたほうがいいのでないですか。

阿部委員長 いいですか。あまり後にいってしまうと準備が大変になりますので、役場、公民館、両島の支所、サンプラ、ハートタウン、健康支援センター、ホクレンショップ、以上でいいですか。（はい。の声）それをアンケート用紙のほうに記載していきたいと思います。アンケートの回収方法についてはこれでよろしいですか。（はい。の声）

#### （４）アンケートの集計・分析

阿部委員長 よければ、（４）のアンケートの集計……

森 議 長 それで、さっきの１人で何枚でも出せるという中で、この政策を打ち出

したいという人がどんどん、コピーはいいと思うのだけれども、コピーしたりQRコードを何回もやって組織票みたいなことというのは防止するのは難しいのかなという気もするのだけれども。

金木副委員長 それについてはきちんとした防止方法というのはないと思うので、1人1通限りにしてくださいみたいをお願い書きを添えるぐらいしか、それでもあえて2回も3回も出してくる人がいたとしてもチェックのしようもないし、こちらからは1人1通……

阿部委員長 QRコードというのは1人で何回も。回答フォームというのがあるではないですか。

小寺委員 端末のデータが入るので、同じ端末からは行かないようになっているので、スマホとパソコンとなれば分かりますけれども、1つのスマホで2回3回ということはできないような、前回使ったフォーマットはそういうシステムになっています。

森 議長 ナンバリングとかもふっと浮かんだけれども、コピーして1番が10枚来たらおかしいねというふうになるのだけれども、ナンバリング入れること自体も意味なんて……。金木さんも言うとおりに、項目だけはきちっと分かるように大きく入れなければならぬと思うけれども、やむを得ないと思いますよね。変な問題提起したけれども、議論した上でこういう結論ということで、明確に用紙に入れてもらうということしかないかなと思います。

阿部委員長 では、1人1回というのをアンケート用紙のほうに書いておくという形しかないのかなと思いますので、それでいいですか、アンケート用紙のことについては。(はい。の声) ほか、集計・分析について。

小寺委員 基本は、前回決まったとおり、議会広報のときに一緒に配る。議員が手分けしてとか、個人的にお願いしに行くとか、それはしないという前提でいいのですか。

阿部委員長 はい。

小寺委員 声かけもしない。

阿部委員長 いや、声かけはしてください。

小寺委員 声かけはするけれども、集めなくていい。

阿部委員長 そうですね。直接持ってというふうには……

小寺委員 しない。

阿部委員長 取りに来てと言われたら取りに行くとか、その辺は臨機応変に。

小寺委員 本当に声かけだけでいいのですか。自分は、すごい少ないと思う。個人的にも隣近所なりお願いしてやらないと、それをみんなでやるのかなと思ったのですけれども、やらないというのだったら僕はいいいけれども、さっきの話を聞くと、1人で何枚もやるぐらいたくさん来るのだったらいいけれども、あまり回収率はよくないから議会みんなで取り組むのかなと思ったのですけれども、もう一回確認なのですからけれども、議員はお願いして歩かないということですね。

阿部委員長 配布についても、前回、前々回辺りでしたっけ、たしか直接持っていく方法というのも意見として出ていましたけれども、さすがにそれだと受け取る側に圧力がかかるという、言葉がいいのかどうか分からないのですけれども、そういったことも不安の1つでもありますので、それをメインでということではなくて、議会だよりに折り込んで全世帯に配布していただくという方法を取ったところなのです。ただ、小寺委員おっしゃるように、回収率というのがこのままでいけばどうしても低くなる可能性はあると思いますので、それは隣近所であつたり近い人、友人、知人でもいいですので、こういったことを議会として取り組むのでぜひとも協力していただきたいというのは、これまでの意見交換会の事前アンケートについてもそういった形でやられていると思いますので、そうい

った部分では回収率の向上というか、いい結果が出るように皆さんには協力していただきたいなと思っております。

小寺委員　　お願いというだけだったら書いてくれない気がするのです。どれぐらいを目指しているのか分からないですけども、お願いしますね。いいですよ。だけれども、各世帯に1枚しかないから、持っていってお父さんとお母さんの分置いていくねとかというのもしなくていいと。それさえ決めていただければいいのですけれども、分からないですけども、後半になって回収率が足りないからと。自分は足りない派なのです。幾らいろんなところに箱を置いたからといって、アンケートというのは、意見交換会もそうですけれども、本当にお願ひして出してほしいと言ってやらないと数というのは集まらないので、皆さんどう思いますか。舟見さん、集まりそうですかね。僕は集まらないと思っているので、どうですか。

舟見委員　　僕も恐らく回収率はかなり低くなるだろうなと予想しています。

小寺委員　　どうしたらいいと思いますか。

森 議 長　　委員長、配るのはどうかというときに、強制感を伴ったり、議員が直接行ってやっているということになってアンケート自体の公平性、圧力かけて書かせているみたいな見方もされるので、やめましょうと決めたのではなかったでしたっけ。

阿部委員長　　そうですね。

森 議 長　　そうですね。

小寺委員　　それだったらそれで確認だったので。自主性に任せてと。後で回収率がどうのとなっても、決まったことだからということですのであれば全然。確認だったので。

阿部委員長　　表立って自らやるのではなくて、皆さんお知り合いもいっぱいいるでし

ようから、そういったネットワークを使って協力依頼をしていただきたいというのが1つです。小寺さんが直接行くのは小寺さんの判断に任せますけれども、議会全体として決めた中ではそういった方法は取らないというふうにしています。

小寺委員 今のでいったらしてはいけないルールだから。圧力がかかる。公平性が保てない。ただ、しつこいようですけれども、せつかく時間とお金とあれをみんなでかけるから、一人でも多くの人にとという方法論を言っているだけで、声かけはするけれども、そういう方法を今回は取るということであれば全然いいです。納得です。

阿部委員長 ほかどうですか。

金木副委員長 私も、やる以上はなるべく多く回答していただきたいという思いはあるのだけれども、コロナ禍で、対面で訴えて、対面で回収して歩くというのもどうかなと思うし、国勢調査がこれから始まるから全件訪問して調査をするのかとも思ったり、それは別件ですが、今回やってみて3,000世帯の1割なかったとしても、1回目なのでこういう形を取ってみたということが1つの経験になって、これでは駄目だから次からは議員11人が、町内を11分割して、それぞれ担当地域を回って回収率を高めましようということも必要かどうか分からないですけれども、それはまた次の段階ということでもいいのではないですかね。と思います。

阿部委員長 ほかないですか。(なし。の声)

#### (5) アンケート結果の公表

阿部委員長(説明) 14:15～

なければ、アンケートの回収方法から集計・分析まではこれまでにして、(5)のアンケート結果の公表についてですが、前回の委員会では1月21日発行予定の議会だよりで結果を公表したいと説明していましたが、これについても今回初めてということで、どのぐらいの時間が集計とか分析にかかるのか分からない部分もありますので、でき次第議会だよりのほうに載せていきたいなと思っていますし、議会だよりを発行す

る前に公表できるのであれば、議会全体であったり報道機関のほうにもアンケート結果のほうは発表していきたいなと思っております。それについてはよろしいですか。(はい。の声) ほか、町民アンケートの実施について何かございませんか。

－主な協議内容等（質疑）－ 14:16～14:21

小寺委員 配布日は決まっていますのですけれども、1か月とか……

阿部委員長 そうですね。1か月程度で。

小寺委員 最終締切日はこれにも載っていないし。

阿部委員長 11月22日になるのか11月30日になるのか、その辺……

小寺委員 1か月ですね。

阿部委員長 こちらのミスで載せていませんけれども、1か月程度を想定していますし、アンケートの回収箱も随時回収していくこともできますので、中を開けて取っていくということもできればしていきたいなど。そうすれば集計するほうも楽になってきますので、そういったこともしていきたいなと思います。

森 議長 できれば決めたほうがいいと思うし、前回だと思うのですけれども、小寺委員のほうからあまり遅くなると12月の一般質問等に反映できないのではないかとということがあって、それに間に合うような方向でいこうということで決まっていると思うのです。それからすると、30日というのはぎりぎり間に合うのかもしれないけれども、間に合わない可能性もあるので、これよりは早めた日程のほうがいいのではないかなと思うのですけれども。

阿部委員長 そうなると11月20日ぐらいか、2週間、3週間だとどうなるのかな……。11月20日でいいですかね。それを基に一般質問等を考えたいという場合は1週間でも早くというふうになるでしょうし、いいですか、20

日で。(はい。の声) それでは、回収日は11月20日にしたいと思います。  
ほかございませんか。

森 議長 飛んだような気もするのですけれども、分析は別として、集計とかというのは一斉にやるのなら全議員で協力して、枚数にもよるのだけれども、何千枚とか、300枚とかだったらできるけど、場合によっては委員長判断でほかの議員にも手伝ってもらおうというのは全然構わないと思うのですよね。

阿部委員長 依頼すると思います、皆さんには。いいですか。ほかございませんか。  
(なし。の声) なければ、暫時休憩いたします。再開は午後2時30分からいたします。

(休憩 14:21~14:31)

阿部委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

## 2 インターネット（動画）配信の調査・研究について

### (1) 配信方法

阿部委員長（説明） 14:31~

次に、2のインターネット（動画）配信の調査・研究についてを議題といたします。その前に、6月定例会で小寺議員の一般質問、インターネット中継に関する事で、その中の答弁の中で町側のほうから協議をするといった答弁がございました。それで、先日町側のほうから連絡がありまして、8月28日に行政側のほうと、事前協議という形になるのかなと思います。まだ協議の中身については詳しくは決まっていないというか、何とも分からない状態なのですけれども、8月28日、今週の金曜日に協議することとなりました。議会側のほうから参加するのは議長、副議長、金木議員、そして私の4名で、町側のほうは町長、副町長、総務課長、地域振興課長が出席する予定です。それについてはいいですか。協議していくということで。(はい。の声) 協議した内容については、後日改めて皆さんのほうに報告できればなと思います。

それでは次に、動画配信に向けて、本日は撮影機材の整備であったり編集作業等について協議していきたいと思います。まず、(1)の配信方法についてですが、前回までの

委員会の中でも配信方法について話をしていきまして、配信方法についてはユーチューブでの配信が最もいいのではないかと決まっていますので、ユーチューブでの配信を基に今後いろいろと調査していきたいと思っております。これについてはいいですか。ユーチューブでということ。（はい。の声）

## （２）撮影機材の整備・動画編集作業

阿部委員長（説明）

次に、（２）の撮影機材の整備・動画編集作業についてですけれども、昨年度予算要求をしております、金額としては57万4,000円を要求しております。その内訳が、資料と書いてありますので、そちらのほうを局長のほうから説明していただきたいと思っておりますので、豊島局長、よろしく申し上げます。

豊島局長（説明） 14:33～

それでは、私のほうから資料というところのものの中身について説明をさせていただきますと思います。まず、令和2年度当初予算への要求内容ということで、こちらにつきましては令和元年11月29日に令和2年度の当初予算要求という形で実施しているものでございます。予算要求額につきましては、資料にありますとおり、57万4,000円ということであります。これの内訳につきましては、下のほうに表という形でお示ししているような中身になっておりまして、まず需用費という形で、各種消耗品費ということで、それぞれ内容については細かく明記しておりますが、総額で5万4,000円。続きまして、備品購入費ということで、撮影機材だとかというところの器具等につきましては、こちら内容につきましては表の中にお示ししているような中身になっておりますが、総額で52万円ということで、それぞれこれの合計ということで、AプラスBというところで、表の中にあります、網かけされて色がついているかと思うのですけれども、科目要求額、それぞれ（A）、（B）というのを仕込みまして、合計で57万4,000円という形になってございます。羽幌町のほうにつきましては、このような形で要求をさせていただいているという状況でございます。

参考までにとということで、ユーチューブを活用して動画配信をしている先行自治体の事例ということで、こちらにつきましても先般電話のほうで確認をさせていただいております。先行自治体の例ということで、初期投資費用、イニシャルコストというところと、初期投資をした後の運用状況につくランニングコスト、こちらのほうについて聞き取り調査しているものでございます。イニシャルコストのほうにつきましては、まずセ



ットアップ経費ということで、一式ということで、こちらにつきましては機器の取付け及び配線工事ということで、当時は全て税額が8%だったということで、税込みの価格で表示しておりますが、34万4,000円ほどかかっているそうです。あと、LAN配線修繕工事ということで、こちらも一式で約8万6,000円ほど、先行自治体につきましてはADSL、アナログ回線が引かれていたということで、光回線への切替工事が必要だったということで、そちらのほうも一式ということで約1万9,500円ほど、あとデジタルカメラ1台、パソコンということで、これは編集ソフトを含むものということで購入しているそうです。こちらが32万5,000円ほどということで、合計で約89万9,000円ほどかかっていたというところでございます。

合計の計の下に米印2つで書いているうちの1つ目、ここに書いていますが、先行自治体のほうにつきましては既存のアナログカメラが1台既にあったという状況の中で、そのアナログカメラを活用して、新たな機器として購入したデジタルカメラ1台、合わせて2台で運用を開始したということなのですけれども、既存のアナログカメラの画質が悪いということから、その後カメラ1台を新たに購入したというところがありまして、総額でイニシャルコストとしては大体100万円程度の経費がかかっているという状況だったということで先行自治体のほうからはお聞きしております。また、先行自治体につきましては、ケーブルテレビみたいな状況だったというような話を聞いているのですが、インターネットを活用しての配信の前に庁舎内向けに議会の状況を映像として配信していたというところがありまして、そういう土壌があった中で、議場内の音響設備だとかそういったものの更新時期も近かったということで、それらの更新に併せてインターネットのほうを活用した配信のほうの運用に切り替えてきているというところを電話のほうで確認をさせていただいております。

次に、ランニングコストなのですけれども、イニシャルコストは先ほど申し上げたような中身になってございますが、運用コスト、ランニングコストにつきましては、議会のほうで議会費として計上している額はないというところは確認をしておりました。光熱水費だとかそういったものの経費につきましては庁舎内全体の管理費の中で運営しているということで、議会単独での経費というものは、先行自治体のほうへ確認したところでは、計上していないというところを教えていただいているというような状況でございます。

#### 阿部委員長

ありがとうございました。ここまで昨年度予算要求した内容、内訳であったり、また先行自治体の事例ということが局長のほうから説明ありましたので、そちらのほうで何

か気になる部分あれば挙手にてお願いいたします。

－主な協議内容等（質疑）－ 14:40～14:54

小寺委員 先行自治体というのはどちらになるのですか。

豊島局長 管内のほうで先行している自治体ということで連絡を取らせていただいていますので、こちらの先行自治体については留萌市さんの事例になっています。私のほうで電話でお聞きしたということを説明の中でもご説明させていただいているのですが、あくまでも電話での聞き取りなので、私のほうで間違って、税込みを税別だというふうに聞いている場合ももしかしたらあるかもしれないのですけれども、先ほども言ったように、総額で100万円程度になったというところはおっしゃっていただいているので、内訳としては表示の金額で間違いないだろうというところを押さえていただきたいと思いますし、また資料としてお示ししたものの数字は、多少差異が出ていたとしても、今言ったようにお電話で聞き取っているというところの状況も鑑みて、その辺ご容赦いただければというところがありますので、よろしく願いいたします。

阿部委員長 ほかございますか。

工藤委員 機器等購入費の部分のカメラコントロールボックスというのはどんなものなのですか。

豊島局長 私のほうからそちらのほうについてお答えさせていただきたいと思えます。カメラコントロールボックスというのは、デジタルカメラを新たに購入して、そこに線でコントロールボックスというのをつけるのです。コントロールボックスというのをつけることによって、消耗品費の中にスイッチングハブというのも記載させていただいているのですけれども、カメラコントロールボックス、スイッチングハブというのをかますことによって、それぞれのカメラを操作することなく、一括でパソコンの中で今の音響設備と同じように、書記席なら書記席でAというカメラとBというカメラの切替えを、カメラの場所へ行ってやるということではな

くて一括してできるというところの作業をするための1つの部品と考えるとください。

阿部委員長 ほか。

森 議 長 デジタルカメラというと、俗に言う昔からデジカメというのでばしゃばしゃと撮れるというイメージなのですが、昔でいえばビデオカメラみたいなものを想定しているのですが、それも含めてデジタルカメラと表現するのですか。

豊島局長 デジタルカメラというところ、予算要求の科目としてこういう名称を使わせていただいているのですが、実際に予算要求の段階で想定したものというものは、イメージしていただきたいのが、ゴープロというカメラ、御存じでしょうか。

森 議 長 防犯カメラみたいなもの。

豊島局長 ではなくて……（何事か呼ぶ者あり）そうです。ユーチューバーの方が使っていたりとか、バイクに乗っている方がヘルメットの横につけている小さい小型のカメラ、ゴープロというカメラがあるのですが、それと同じような形態になるのだらうと思うのですが、想定していたのはソニーのRX0シリーズというところであるカメラなのです。デジタルカメラというか、俗に言う、議長がおっしゃられたばちばちと一枚一枚の画像を撮る写真ということではなくて、動画も撮れる、今でいうビデオカメラみたいな性質を持っている箱型のカメラなのです。そのときの予算要求の状況としては、そのカメラを2台用意して、固定で議場に設置をして、先ほど言ったようにコントロールボックスとスイッチングハブを経由して、その場所に行かなくても切替えができるというようなことができればいいなという想定の下、予算を要求させていただいているという状況になっております。

阿部委員長 このカメラについては、以前寺沢さんがまだ議員時代に議場のほうでデモ撮影したときに使っていたもの、あれがゴープロ。小寺さん、そうで

したよね。(何事か呼ぶ者あり) 似たような、こんな小さい……

豊島局長 大きさはちょっと、僕のほうでは現物を見たことがない……

阿部委員長 普通の家庭用で使うのとはまたちょっと違うのかなと思います。ほかどうですか。ちょっと僕のほうからよろしいですか。画像編集用のノートパソコンは1台、留萌市の例でいきますと編集ソフトを含んでの1台ということで、昨年予算を要求したときは編集ソフトは入って……

豊島局長 可能なパソコンということで要求しています。

森 議長 全然詳しくないのですけれども、ユーチューバーなんて携帯でみんな撮ってやっているではないですか。ほとんど携帯、スマホ、それでやっていて、その中に入っている編集アプリで普通にできているみたいで、ソニーのRX0で見たら5万とかそのぐらいで、2という新しいのが出ていて、それも6万、7万の世界みたいで、それからすると、これは定価の値段なのかもしれないのですけれども、実際に買うとなったらかなり下げられるのではないかとということ、留萌のでよく分からないのが、パソコンの編集ソフト、1台で三十何万、そんなパソコンどこにあるのだろうと。アップルかなんかの最高級品だとそういうふうになると思うのだけれども、アップルの場合は編集ソフト入っているかなという気もしないでもないで、全体としてはこの内容だとしたら、これよりまだ詰めれるかなという印象なのですけれども、果たしてこれで本当にいいのかという。逆に。最低限これだけの種類の機材があれば、単価は下がるにしても、足りるのかなというのはどうなのですか。

阿部委員長 撮影機材の検討ということで、今日がっちり決めるわけではないのですけれども、参考までに皆様のご意見をいただいて、令和3年度当初予算への要求をすとなれば、11月末までには予算額も決定しなければならぬですし、業者のほうからの見積り等もありますので、できれば10月末、遅くても11月頭ぐらいですかね。

豊島局長 そんな感じで。

阿部委員長 スケジュール的な部分でいけば、10月末までには次年度予算要求する額を決めたいと思いますので。

森議長 これやったときには私いなかったのですが、終わってから聞いたら、ほぼ定価で載せているのでないかという事後の話でしたけれども、繰り返になりますけれども、留萌の金額は別として羽幌の部分で、これだけあればある程度自分たちがイメージしているものができるのか、そのときはできるということだったとお伺いしたのですけれども、その辺どうなのですかね。

阿部委員長 これはデモ撮影したときからほぼ変わっていない感じですかね。予算要求している機材そのものは。

小寺委員 当初は普通のカメラとか普通のセットだったのですけれども、予算要求するときに急遽ソニーに変わったのです。借りてきた経緯もあって、全部ソニーでそろえているのです。自分はもう一回一から考え直したほうが、このデジタルカメラも議場用ではないので、もちろんズームの作業はできないのですけれども、近場で撮るしかできないという作業のカメラ、そういうものなのです。なので、どういう撮影をしたいかということも含めて考えていかないと、半分ではないのですけれども、見たこともないですし、様子も分からないし、画角的には見る人からしたらすごい見づらい設定なのです。2台でやると、質問する人の近くに1個、あと一番遠くで1個という設定なので、イメージしているあれは撮れない。このセットでは、その辺も考えて進めていかないと、本当に2台でいいのか、もっと顔の見える辺りに持っていかうと思えばカメラの台数を増やすのか、あとはズームを使える機能を利用するのかとかということも必要だと思うのです。やってみて雰囲気違ったということにならないように、機材を選定するのであればそこも含めてみんなで考えていかないと、皆さんが思っているイメージとは変わってくるのではないかなと思います。

森議長 実際に留萌でやっていて、教えてもらっているのです、買ってからどうこうではなくて、一回見に行ったら一番早いのではないですかね。

金木副委員長 俺この前、6月議会を傍聴しに行ったのです、留萌まで。留萌は、担当者、書記の人なのかな、一番後ろが傍聴席、10人ぐらい座れるのですけれども、その並びに書記席があって、大体常に2人座っていて、そこにパソコンの画面とスイッチがあったのです。俺が興味深くじろじろ見ているので向こうも気になったらしくて、実は私、羽幌の議員やっている者なのですと。羽幌の議会でもこういうものをつくりたいと思っているのですと言うと、ああ、そうですかとすごい低姿勢になってしまって、こういうふうにするのですよと教えてくれたのです。あそこは普通の四角い会議室のような議場なのです。羽幌みたいに段々になってはいないのです。一番前が議長席と、すぐ斜め下が市長席で、市長は自分で席で立ったり座ったりしてしゃべるのですけれども、議員側は議員席の一番前に専用の質問席があって、そこを正面から撮るカメラと、市長とか議長を狙うカメラとが後ろのほうにあるので、恐らく留萌もズーム機能がついていると思うのです。画面は結構大きく顔が出ているので。

阿部委員長 休憩します。

(休憩 14:54～15:06)

阿部委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。今後の撮影機材の部分については、他の議会を参考に、昨年度要求した内訳ではなくて、再検討するという事によろしいですか。その上で、そういった議会の視察になりますかね。そういった部分も含めて今後調査していきたいと思っておりますけれども、それによろしいですか。(はい。の声)

## (2) 撮影機材の整備・動画編集作業

阿部委員長(説明) 15:06～

それでは次に、動画編集作業ということで、資料の裏面をめくっていただきたいと思っております。動画編集につきましては議会のほうでやる、議員のほうでやるという話で進んでいましたが、局長のほうにお願いをいたしまして、外注をした場合どのぐらいの費用がかかるのかということで調べてもらいましたので、動画編集、外注の部分の説明を局長のほうからよろしくお願いたします。

豊島局長（説明） 15:08～

それでは、私のほうから、今委員長がおっしゃられた動画編集作業を外注した場合の費用というところで説明をさせていただきたいと思います。先ほど別途お配りしております資料の裏面になります。こちらのほうに動画編集作業を外注した場合の費用ということで、こちらにつきましては2社に打診をしてみて、参考見積りということでご協力いただけないだろうかということで、了解のあったところからそれぞれ参考見積りという形でご回答いただいたものを提示しております。

まず、A社のほうにつきましては編集作業ということで、こちらについては資料のほうに記載してありますとおり金額9万円ということで、こちらにつきましては下のほうに米印の注1ということで表記しておりますけれども、各定例会での一般質問を行う議員数を5名と想定して、議員1人当たり約1時間とした場合を想定した上で、編集作業にかかる費用としてどの程度になるでしょうかというような中身をもってお話をさせていただいた結果が9万円という形になります。

続いて、B社のほうなのですけれども、こちらにつきましては映像加工費用として一式7,800円というふうに言われてきたのですが、この中身は内訳として、動画加工費ということで1カット900円、併せてタイトルをつける場合はタイトル加工費も1カット900円という形になるというお話でした。1カットというところの定義なのですけれども、カメラの切替えに伴う1映像、それを1カットというふうに捉えまして、映像データに何らかの作業が発生する場合、それは全部1カットという扱いになるそうです。具体的にどういった場合かということ、私どもの議会のほうで1回目の統括質問につきましては、議員につきましては最初から最後まで一般質問席で行うわけなので、そこで撮影したものが統括で1カット。一番最初の統括質問に併せて、今度理事者側のほうで答弁するときは登壇するので、登壇したところを写したとしたら、それで1カット。これで1、2です。再質問以降は、議員さんにおかれましては一般質問席で終了まで質問することになりますので、再質問が仮に3回あれば、答弁者側と質問者側でそれぞれ3回ありますので、掛ける2なので、これで6カットということで、1回目の統括質問から答弁、再質問がそれぞれ3回ずつあったというやり取りをした場合8カット出ますので、900掛ける8カットというところになるそうです。併せまして、動画ファイル変換費用ということで1時間6,000円というふうに書いているのですけれども、成果品として上がったものが1時間当たり6,000円かかりますよということになります。ですので、1議員の一般質問の時間数が約1時間あったとしたならば、これに一般質問をされた方々の議員数を掛けるということで、仮に1つの定例会で5名の方が一般質問に立たれたという形であれば、それぞれ1時間とした計算をした場合6,000円掛ける5名ということ

で、そこでまず出てきますよと。先ほど言ったカット数ということで、その総体の額が請求される金額という形になるという形だそうです。

説明のほうはそういうことで、A社、B社共に表示させていただいている金額は税別という形ですので、それぞれこの合計金額に税額が加算されるというふうにお考えください。いずれもこの業者さんのほうにお願いしているものについては、DVD等の媒体を通して映像の提供、収受をするというところを想定しているというところを1つの条件としております。2つ目としまして、いずれもユーチューブでの配信に適用した形式。詳しくは僕も分からないものですから、ユーチューブに動画を配信させた場合、それに対応し得る映像の形式にしてほしいという話で事務局のほうからは業者さんのほうにお話をさせていただいているので、それに適用したものという形での想定になっているかと思えます。また、現時点でお示ししている金額につきましては、あくまでも口頭でのやり取りというところも含めて概算であって、詳細詰めた場合はこの辺については変動する可能性がありますよというところをあらかじめご承知願いたいというところでありますので、委員の皆様の方におかれましてもその辺についてはご理解いただければと思います。雑駁ですが、このような形になっております。

阿部委員長（説明）

今局長のほうから外注に出した場合の費用ということで説明がありました。動画編集については外注に出すとかそういった部分は決めていませんので、外注に出すとなれば予算要求する額も上がってくるのかなと思います。今説明あった部分で何か気になることがあれば質問していただきたいと思いますので、お願いいたします。

— 主な協議内容等（質疑） — 15:16～15:32

阿部委員長 A社のやつは1本9万円。年間でいけば4定例会あるわけですが。

豊島局長 A社、B社共に1会議当たりどのぐらいかなというところをつかみで聞いているお話なので、今委員長のほうからお話がいったように、年間4回定例会があつて、定例会の中でそれぞれお話をしたときの想定となる条件であつた場合は、これに掛ける4回ということで年間の金額が出てくるというようなことであります。

金木副委員長 A社、B社、これ道内の業者なのですよ。完成品の上がってくるのは、



翌日というわけにはいかないのだろうけれども、1週間ぐらいかかるのか、完成までの作業日数、完成日数というか、あと実際にいろんな自治体でこういう業者に発注してやっているのかどうか、その辺もし分かっていたらお願いします。

豊島局長           まず、A社、B社、これは共に北海道に支店もしくは営業所を持っている事業体ということでご理解ください。2点目についてなのですからけれども、作業の依頼から完成品、納品までの時間というところなのですからけれども、それぞれ一定の時間を見ていただきたいというところと、どのぐらいの作業内容によるかによって時間としてもどのぐらいかかるかという話になるので、具体的な答えというのはいっていないのが現状です。3点目……

阿部委員長        実際こういう業者を利用している町とか。

豊島局長           実際の運用というか、委託の実績があるかどうかということなのですが、A社につきましては、過去にやっていたとか実際に自治体のほうでそういうふうなものを請け負ったというところはなくて、やることは可能ですというところも含んでお話をいただいております。B社につきましては、ユーチューブに載せるというところのものではなくて、ユーチューブにも載せることは可能ですよというところでの含みを持った上であれば、道内、道外含めて映像の配信だとか加工だとかということを手がけている業者さんであります。実際にどのぐらいの実数があるかというのはお聞きしていないのですけれども、やっていますよというところのお話で、B社のほうはやっていただけますか、やらせていただきますということと、自前のところで専用のシステムもありますよというようなお話も、営業ですけれども、されております。

阿部委員長        ちなみに先ほど表のほうの説明であった留萌市のほうでいけば、編集については留萌市さんはどのようにされているか、もし分かればお願いします。

豊島局長           留萌市さんのほうでお聞きしているのは、まずライブ配信はライブ配信

としてそのまま流しますので、編集云々かんぬんということではなくて、ごくごく各議会の中で発生し得ることなのですけれども、暫時休憩を取るような場合、そちらのときだけ暫時休憩という差し込みの映像みたいなものがあるようなのですけれども、それを入れるということはやっている。あと、録画したものを配信する際の編集作業につきましては、留萌市さんは職員が専属でやっているそうです。そのための編集ソフトを購入しているということでお聞きしております。

阿部委員長　ほかないですか。外注に出さないというような形になれば、議会のほうで独自に編集していくということになると思います。

森議長　先ほど言ったこととも通ずるのですけれども、あまりコストがかかると、それだけでハードルがどんどん上がっていくのと、今聞いた限りでいうとB社も、A社に劣らずどころか、3回ずつやり取りがある、そういうこともあるけれども、最低でも10回は。だから、同じような、もしくはそれを上回るコストというのは明確で、機材の50万ですらお金がかかり過ぎるというふうなことだったものに対して、毎年ランニングコストで何十万もかかるということであると、実現性が非常に薄くなるかなという気がするので、自分たちがやれる範囲というか、町との協力の範囲の中でというところを詰めていくほうに切り替えて、外注は諦めたほうがいいのではないかという印象ですね。分からないところがあるので、ほかの人の意見の中で、もっとうまくやれば安くなるよとかそういうのがあるかもしれないけれども。

阿部委員長　予算も絡んで、外注に出せば要求するインターネット中継に関する予算額も上がってきますので、そうなったら行政側もちょっとなというふうにならなくなるのかなと思います。ただ、動画編集をどこでやるというところまでは決め切れていない部分も、議会のほうでやるということで話は進めてきていました。広報広聴常任委員会ですので、そちらのほうに担っていく可能性が高いのかなとも思います。まだ具体的にいうか、インターネット中継も実現ということまではいっていませんので、その辺詰めていくのは難しいところもありますけれども、自前でやるとなったら皆さんにはある程度覚悟してもらって、そういうのも覚えてもら

わなければならないのかなという部分もありますので、そちらに関してはよろしく願いいたします。議長のほうからも、町の協力体制というものができてくれば、町側のほうでも編集のほうもある程度手伝ってくれるよというふうになれば、それはそれでいいのかなとも思いますけれども、議会のほうからインターネット中継をやりたいと言っている以上、どうしても議会のほうでそちらのほうも担わなければならないのかなと思いますので、動画編集につきましては、具体的にインターネット中継が実現するというようなタイミングがいつになるか分からないですけれども、そうなったときには議員の皆さんにはぜひとも、講習という形がいいのかどうか分からないですけれども、そういったのも受けてもらわなければならないのかなと思います。ほかどうですか。

小寺委員 今のでいうと、委員長の言い方だと、画像編集は委員会で受けるということですか。

阿部委員長 その辺決まってははいないですけれども、広報広聴という……

小寺委員 分からないけれども、議会で受けるとなると、全議員でやるのか、事務局も含めてやるのか。ただ、事務局が今の仕事量でできるかと考えたら本当にこの5人でやるというふうに進んでしまって、後でいやいや、うちらできないわ、やっぱり外注、やっぱり事務局にお願いします、事務局ではできませんとなるから、僕個人はできますけれども、個人でやるものではないので。

工藤委員 問題は、要するに議会が開催されているときには、僕らが席から離れることはできないと思うので。

阿部委員長 編集作業は、撮って録画したやつを取り込んで……

森 議長 議会終了後なのです。

阿部委員長 議会終了後。それを……

- 工藤委員 撮影するときには町側でやってもらおうと。
- 阿部委員長 その辺もまだ詰めれてはいないのですけれども、動画編集なので、撮ったものをパソコンに取り込んで、それを編集していくという形です。
- 小寺委員 簡単ではないと思うのです。予算を落とすというのは楽だけれども、実際作業になったら皆さんの負担になるので、そこを考えていかないと、進まないといったら進まないから、やりましょう、やりましょうでいいのだけれども、今の委員長の言い方だと、委員会で本当にやるの、いやとなったときに、そこは考えないで進むのだったらいいけれども、後々事務局に迷惑かけたり、やっぱり業者に頼まなければいけないとなったら一番困るではないですか。本当にお金だけ落とすのを考えてするのか。大変ですよ。みんなやる気でやるのだったら全然いいのですけれども。
- 金木副委員長 やる気があるもないも、どのぐらい大変なのかも全然分からないし、ちょっと講習受ければできるものなのか、やっぱり無理なものなのかも分からないので、可能であればやりたいという気持ちはあるけれども、実際やれるかどうかまでは俺も今の段階では判断できない。どうしたらいいのだろうね。
- 小寺委員 きちんと意見を言わないと、そのまま進んでしまって後々困るし、もし委員会で対応できないのであれば、ほかの委員も含めてみんなに協力を願うぐらい考えないと……
- 金木副委員長 協力すればできるものかどうか分からない。
- 小寺委員 誰か講師を呼んで、やり方を教えてもらえるというのだったら、そういう予算も考えていかなければいけないし、スタートは議員でやると言ったよね。事務局というのは今の段階ではないけれども、やっぱり議員ではできないから事務局お願いします、できたらあしたまでにやってくださいというふうにはしたくないので、個人的にはできてしまうからできるので、ただ、個人でやるものではないので、そこは考えていただかないと、自分ができるからいいですということにはならないと思うし、毎

回僕がやるわけではないので……

工藤委員 通常、他の議会でやっているのは、恐らく町側の職員がやっているのだと僕は思うのだけれどもね。

豊島局長 先ほど先行している自治体の例ということで留萌市さんの例をご説明していたと思うのですが、その中で僕のほうから少し触れたと思うのですが、録画したものを編集して、ユーチューブの動画のほうに配信をさせるということは事務局の職員が賃金で行っているという、留萌市さんの例はそうです。恐らくですけれども、多くの自治体さんの中で動画配信をしているというところであれば、配信の方法はいろいろあると思うのですが、恐らく議会事務局として配属されている職員のほうで議員さんのご協力を得ながらやっていることではないかと思えます。併任発令をされている町のほうにお願いするというのは、話の中でそれが整って、いいよ、やるよと。議会の発信も町の発信と同じだから一緒くたにやりますというふうに話がついているのであれば、町のほうとして議会事務局のほうに、出向というのですけれども、配置されている職員でなくてもやっているというケースはあると思うのですが、そういう協議がされていなければ、恐らく議会で流すという話になってきたときは、先ほどの繰り返しになりますけれども、議員さんの協力を得て議員さんだけでやるか、議員さんと事務局が協力して事務局職員と議員さんが一緒にやるのか、もしくは事務局限りでやるのかというところで、議会のほうの配属されている職員もしくは議員のほうでやっているというのが多いところではないかなと思います。

森 議長 実際に見たこともないので、さっき留萌に行きませんかという話をして、行く方向で詰めていくのだらうと思うので、そういうことを見てからでないと、これ以上議論の進めようがないのではないかと思うのです。だから、今日の段階では次回の課題ということで、現場を見て、それからまたもう一回話し合うというふうにしないと空論にしかならないと思えますので、そういうのはどうでしょうかね。

阿部委員長 今日ここで決めるわけではなくて、できることであればそういったのも

触れることができたり見ることができれば大変さも分かると思いますので、あくまでも今回は外注に出したらこのぐらいかかるよという参考までのあれですので、そういった部分は今後、編集作業は課題として今後調査研究ということをしていきたいなと思います。ほかどうですか。ありませんか。いいですか。(なし。の声) ないようですので、以上をもちまして広報広聴常任委員会を終了いたします。お疲れさまでした。